

# 苫小牧港開港50周年

未来へ！みなと大作戦 ~Gateway to the future~

詳細 企業立地課 ☎32-6438 苫小牧港管理組合 ☎34-5551



## 苫小牧港に集まる船たち



北海道の海の玄関口である苫小牧港には、年間1万3千隻を超える船が出入りします。漁船や客船などさまざまな船がありますが、今回はその中でも、苫小牧の産業を支える「モノ」を運ぶ船を紹介します。

### コンテナ船



世界共通サイズであるコンテナを運ぶ船。ガントリークレーン(写真右)で積み下ろします。苫小牧港の特徴として紙類や自動車部品の輸出と、製材や牧草の輸入が多いです。

### ローロー RORO船



船の前後の入り口からトラックやトレーラーが直接船に入り、そのまま目的地へ貨物を運ぶことができます。苫小牧港では、完成自動車や紙などの取り扱いが中心です。

### タンカー

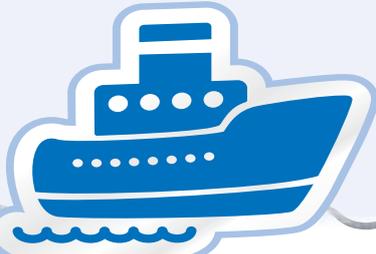


原油などを運ぶための船で、全長300mを超えるものもあります。備蓄基地や製油所を抱える苫小牧港への出入りは多く、大型タンカーはシーバースと呼ばれる施設から送油します。

### フェリー



旅客や貨物を、車両ごと運搬できる船で、北海道の交通手段として、重要な役割を担っています。苫小牧港には西港と東港にそれぞれターミナルがあり、中・長距離フェリーの就航数は日本トップクラスです。



船が運ぶ「モノ」からは、その港やまちの特徴が分かります。紙や自動車などの流通の要となる港は、苫小牧の発展に欠かせないもので、その存在が、私たちの生活を支えています。

### チップ船



木材チップ(紙の原料になる木材片)を運ぶ船。木材チップは軽く、かさが大いため、船倉が高いのが特徴です。チップは、ベルトコンベヤーで直接貯蔵ヤードに送ります。

## 船旅を体験・快適な空間を見学するイベントを開催します

詳細 苫小牧海事事務所 ☎32-5901

### ショートクルーズ

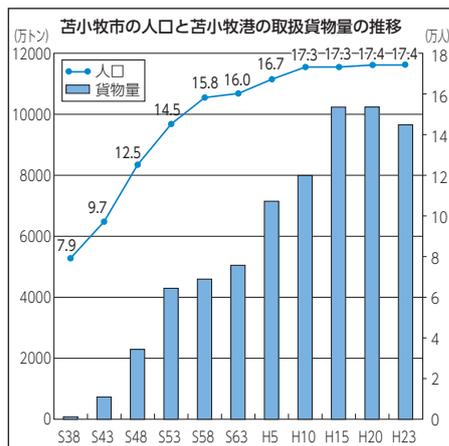
**日時** 6月29日(土) 10時~12時  
**定員** 350人(抽選)  
**内容** シルバーエイトにて苫小牧沖を航海

### 船内見学会

**日時** 7月7日(日) 13時30分~16時30分  
・13時30分~15時 いしかり  
・15時~16時30分 さんふらわあさっぽろ  
**定員** 400人(抽選)  
**内容** 停泊中のフェリーを見学

**場 所** いずれも苫小牧港フェリーターミナル(西港)

**申し込み** ハガキに代表者の氏名、住所、年齢、電話番号のほか参加者全員の氏名、年齢、見学希望日を明記し 〒053-8770 港町1丁目6番15号 苫小牧港開港50周年船内見学会まで  
※6月10日(月)必着、両日とも参加希望の場合はそれぞれ応募が必要。



先月号6ページの、「苫小牧市の人口と苫小牧港の取扱貨物量の推移」のグラフの数値に誤りがありました。訂正してお詫言します。正しいグラフは左記のとおりです。

おまかせ

苫小牧港開港50周年記念シンポジウム とき／6月16日(日) 14時~17時30分 ところ／ブランドホテルニュー王子(直接会場へ) 詳細 苫小牧港管理組合